

株式会社ケアリング 仕事と介護の両立支援



働き方改革について

人口及び労働力人口の急激な減少により、労働力の確保が難しくなってきました。

福岡県の最近の有効求人倍率は1.58倍。労働者の奪い合いに近い状態となりつつあります。

働き方改革は日本の労働力人口の減少を労働生産性の引き上げで解決し、労働時間の短縮等の施策によって、減少する労働者を健康で如何に長く働いてもらえるかで、不足する労働力人口をいかに補うか等を大きな目標にしています。

労働者の数が減少することの対応策として、業務の合理化を図ることで企業体力を維持する。

他事業展開をして国外へ進出する等、といったいろいろな方法があります。

また、労働者の減少環境の中では、福利厚生充実とか賃金の上昇といった労働環境がよい会社へ人材が集まってきます。ということは、福利厚生、賃金等の充実した企業が、あるいはこうした環境を近づけることで人材確保に優位に働きます。

日本の正社員の約16%が年次有給休暇を1日も取得しておらず、また、年次有給休暇をほとんど取得していない労働者については長時間労働者の比率が高い実態にあります。

ケアリング社においても有給の取得率は低いです。

厚労省のデータでは、2030年には人手不足が644万人と予想されています。

今後10年間は65歳以上の労働者の参入があれば600万人位の労働力の不足分はカバーできるとされています。人手不足の644万人を外国人労働者も入れ、カバーは出来ます。

65歳以上の雇用についても有給で働いてもらえる方は積極的に採用し、フルに働けなくても、半日とか働ける時間帯、体力に合わせる働き方も可能です。

現在から5年後、10年後と定年及び継続雇用を考えた社員数予測を求め、人材の募集、育成のプランを明確にしていくことが重要です。



女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画・現時点の報告

ケアリング社は、社員全員が働きやすい環境で、その能力を十分に発揮できるようにするために下記のような行動計画を策定しています。

計画期間は2017年6月1日～2025年5月31日

介護事業所という性格やシングルマザーの採用に積極的な方針をとっており、女性職員の割合が多く、女性社員の能力が発揮しやすい職場環境であるということが出来る。

そのような企業環境において、女性がより一層の活躍ができるように、

そして介護という仕事の魅力を一層高められるように、次のように行動計画を策定する。

平均勤続年数を男女とも5年以上にする。

各月ごとの平均残業時間を1.5時間削減する。

現在実行できています

2019年までに全管理職における女性割合を60%以上とする。

現在実行できています

2019年4月現在、21事業所中12名の女性管理職が誕生しております。

2021年までに役員取締役における女性割合を50%まで引き上げる。現在実行できています



仕事と介護の両立支援への取り組みについて

当社は福祉・介護の事業の会社です。

職員はみな仕事と介護の両立については問題等は当社のケアマネージャー、相談員へ相談し解決を図っていると思っておりましたが、この数年家族の介護のためと退職してゆく職員が生じており。せめて職員の介護離職を防ぐため、職員が仕事と介護の両立を考えられるように取り組むことが、重要と考え、プロジェクトを立ち上げ取り組みを行っております。



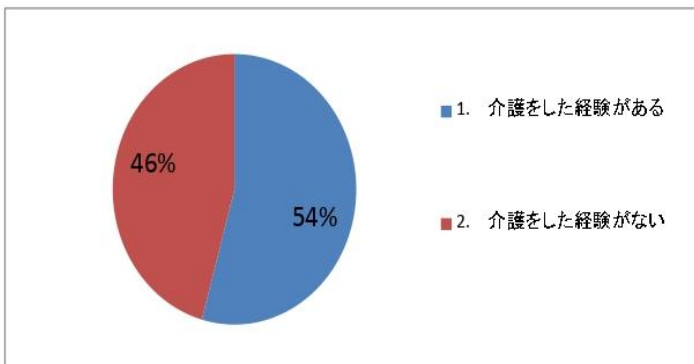
実態把握

社内アンケートを通し、社員の介護状況とニーズの把握を行いました。

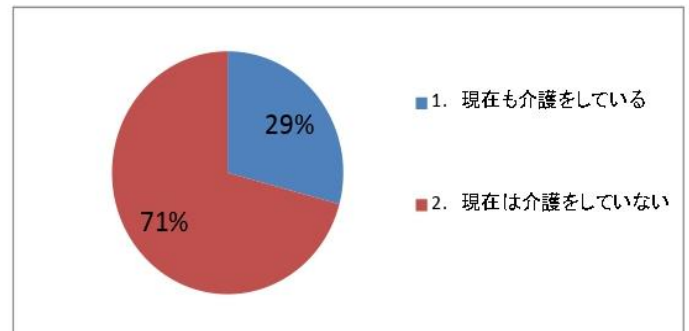
仕事と介護の両立実態把握アンケート

ケアリング全体

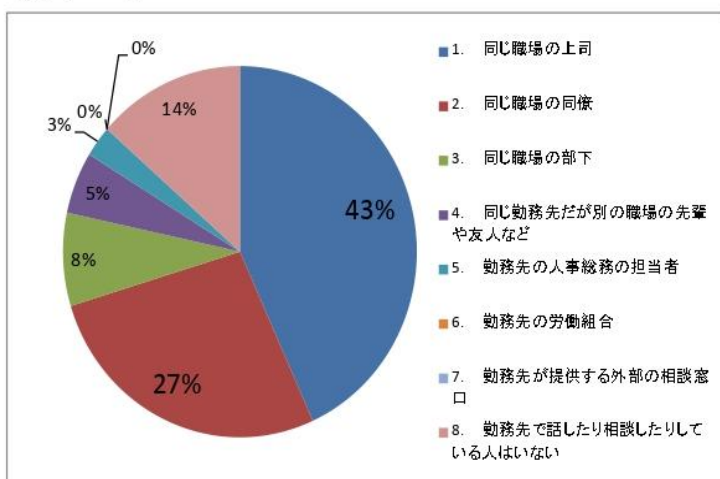
Q1 あなたは介護をした経験がありますか。



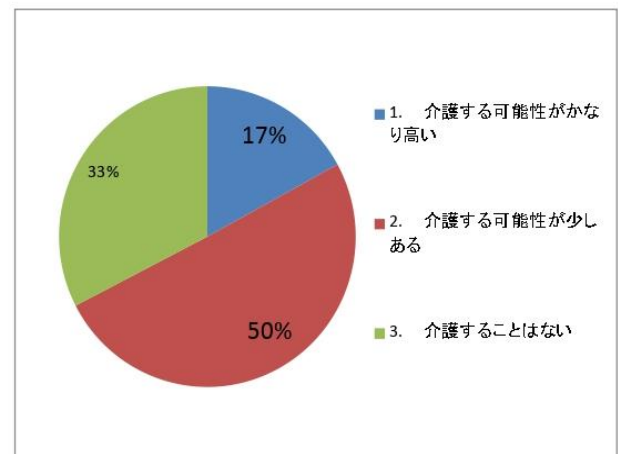
Q2 あなたは現在も介護をしていますか。



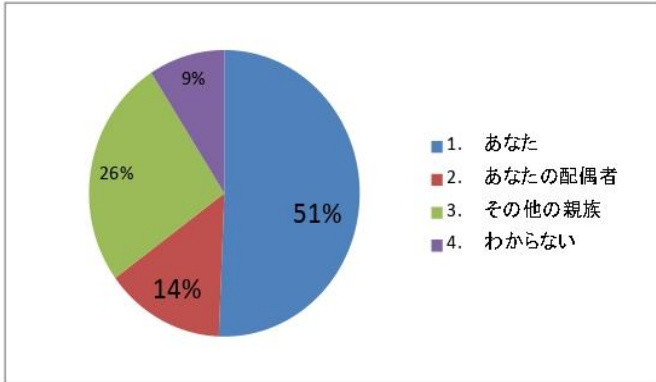
Q3【Q2で「1.現在も介護をしている」と回答した方にお伺いします】あなたは、ご自分が介護にかかわっていることを、勤務先の方に話したり相談したりしていますか。主に相談等している方についてお答えください。



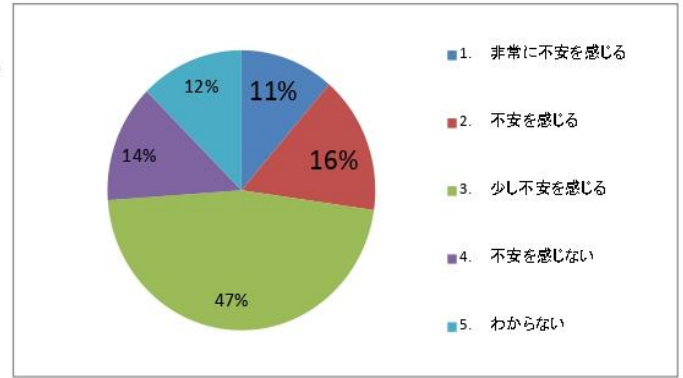
Q4【Q1で「2.介護を経験したことがない」もしくはQ2で「2.現在は介護をしていない」と回答した方（現在介護をしていない方）にお伺いします】あなたは今後5年間のうちに、ご家族・親族を介護する可能性はありますか。



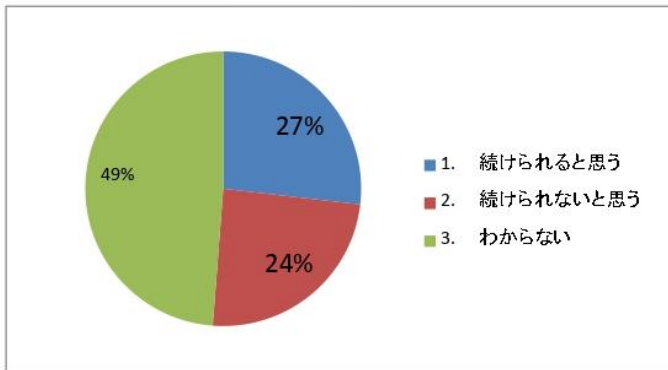
Q5【Q3で回答された方、Q4で「1.介護する可能性がかなり高い」もしくは「2.介護する可能性が少しある」と回答した方にお伺いします】
 現在主に介護をしているのはどなたですか。将来介護する可能性がある方は、どなたが主に介護することになりそうですか。介護を要する方が複数いる場合は、あなたと最も関わりが深い介護についてお答えください。



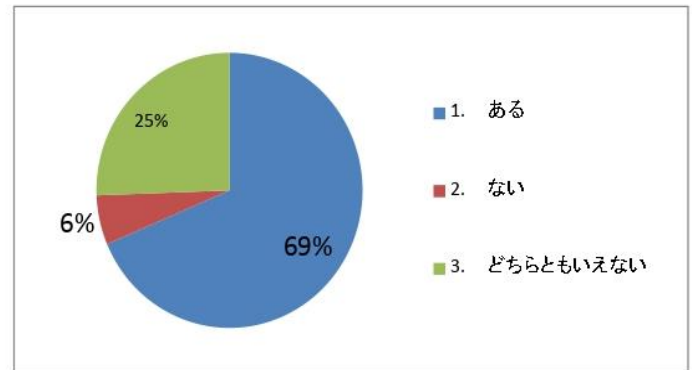
Q6 介護することについて、どの程度の不安を感じますか。



Q8 介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができますか。



Q9 介護のことについて、職場の上司や同僚に話したり、相談したりすることができる雰囲気が、職場にありますか。



今回介護と仕事の両立アンケートを全支店にて実施致しました。

その結果が上記のグラフになります。

今後5年以内に介護を今後行う可能性のある方が過半数を占め、さらに少しでも不安を感じている方がほとんどでした。

また、主に介護を行うのは「自分」と答えた方が半分を超えています。不安を感じる方が多いのは、いざ自宅介護となればどうすれば良いのか、仕事を続けられるか…等です。

幸い、当社には介護のプロフェッショナルがいます。職場だけではなく自宅介護の経験者も半分を超えています。

介護をしながら仕事を続けられるよう、今回のアンケートを基に介護休業制度を見直しました。

是非一人で抱え込まず、まずは周囲や会社に小さなことでも相談してください。

介護に直面した職員への利用支援

介護と仕事の両立の心構えや知識のセミナーを重ねることにより、周知、浸透を図ってきました。

令和元年5月21日